

高齢を生きる —認知症・胃ろう・尊厳死を見据えて— 第2回

〈共催〉

(財)日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター
NPO法人ちいろば

高齢化社会が本格化する中で、高齢者が満足感をもって日々の生活を生き、尊厳をもって自らの生を締めくくるための制度や文化は、まだ十分に成熟しているとは言えない。本フォーラムでは、高齢者本人のみならず、家族に対しても大きな精神的・倫理的課題を突きつけることになる認知症と、それにとまなう胃ろうの設置、尊厳死の問題を本格的にとりあげる。また、こうした終末期の課題をしっかりと受けとめるためにも、そこに至る長い老いの時期を、いかに積極的に生きることができ、それを実践している先端的な現場において考えていきたい。

高齢者福祉を繕う ～NPOちいろばの働きを考える～

講 師 君村 淳 (NPOちいろば「晴れる屋」責任者)
君村 千代子 (NPOちいろば「ス カサ」責任者)

新しい試み、お年寄りの小規模デイ・サービス事業とみんなの広場「あなたの居場所ス カサ」とを一つにしたNPO事業が始まって2年が経った。事業も順調に進み、デイ・サービス事業は、日曜日以外は休まずに運営されている。きめ細かいサービス、安心して集うことができる場、人と人が見えない壁を取り払って「くつろぐ場」、そんな居場所づくりを造り続けている、それがNPOちいろばである。

今の社会福祉事業は、個々の施設と公共の機関との連携の中で事業がなされ、個々の福祉対象者にケアがなされている。ただ、制度が整うことで、福祉現場は専門化し、そこに市民やボランティアの参加が閉ざされ、閉鎖的な社会が生まれてきている。

本来、日本の社会福祉は、ボランティアが福祉を支え、現場に市民が参加し、権利と義務とが相関関係に則って成り立つことを願い考えられてきた。その点、NPOちいろばは、ボランティアの参加と専門家によるサービスとが一つの現場で成り立つ「場づくり」をし、さらに、垣根のない「広場」づくりをめざそうとしている。この取り組みは、福祉の原点を見つめる働きのように思える。是非、現場をみていただき、己の老後をそこに当てはめてみたい。

日 時 2012年 10月27日 (土) 12:00～15:30

場 所 あなたの居場所「ス カサ」 ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 1,000円、学生500円 (ランチ・コーヒー込)

定 員 20名

*10月24日までに FAX(裏面)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。(定員に達した時は締め切ります)

NPO ちいろば の 紹 介

2010年4月にスタートしたNPOちいろばの活動は、現行の福祉制度の隙間を縫うような働きをすることを目的に始まった。

ちいろばは二つの機能・働きをもつ。ひとつは、誰もが利用できるたまり場「ス カサ」(私の家)と、もう一つは小規模多機能デイサービス事業「晴れる屋」の活動である。この二つの事業が一つとなって機能することをもって、今日の福祉の狭間を補完するのであるが、前者はボランティアが中心となって運営され、後者は専門職員によって運営されている。

2012度 修学院フォーラム これからのご案内

◇ 高齢を生きる—認知症・胃ろう・尊厳死を見据えて

第3回 12月15日（土）

「高齢を生きる—認知症・医療的介入（胃ろうなど）・尊厳死を見据えて—制度と現場のはざままで—」

講師 根岸宏邦（豊中愛和会理事長）

第4回 2013年1月19日（土）

「「尊厳死」思想の形成と変容—尊厳死と安楽死」（仮）

講師 大谷いづみ（立命館大学産業社会学部教授）

◇ エネルギーを考える—原子力発電の根本的問題と我々の選択

10月7日（日）～8日（月）

「科学・技術の視点から」

講師 北澤 宏一（独立行政法人科学技術振興機構顧問・前理事長、福島原発事故民間独立調査委員会委員長）

「キリスト教倫理の視点から」

講師 栗林 輝夫（関西学院大学法学部教授）



「スカサ」へのアクセス

近鉄・桃山御陵前、京阪・伏見桃山

JR・桃山駅から徒歩10分

京阪・観月橋から徒歩5分

京都市伏見区桃山町泰長老175

シャルム世光 1階

電話：075-644-5894

〈会場への地図〉



【申込み・問合せ】

(財) 日本クリスチャンアカデミー

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

所長代行 榎本 栄次

担当 都木かおり

2012年度 修学院フォーラム「高齢を生きる」第2回 参加申込書

(フリガナ)			
名 前		所 属	
住 所 〒			
電話 ()	—	FAX ()	— 携帯 ()
電子メール :		@	
通信欄 :			